



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース56号



## 平成29年度 催し物

毎月、さまざまな催し物を予定しています。夏休みは子供向けの体験学習が充実しています。

海苔に関するものや親子で楽しめる催し物などご用意して、皆様のご参加をお待ちしております。

開催日		催し物	対象	受付開始日	
月	日・曜				
4	2日(日)	海苔つけ体験	どなたでも	満員御礼	
	29日(土祝)	緑のカーテンを編もう	小5以上	3月21日(火)	
5	21日(日)	海藻おしばづくり	どなたでも	4月21日(金)	
6	25日(日)	あみあみペットボトルホルダーづくり	小5以上	5月21日(日)	
7	23日(日)	タペストリーをつくろう	小3以上	7月11日(火)	
	27日(木)	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	小3以上		
	30日(日)	浜辺の生き物探検隊	小3以上		
8	6日(日)	自由研究で海苔を調べよう	小3以上		
	8日(火)	コースターづくり	小3以上		
	11日(金祝)	フジツボを観察しよう	小3以上		
	19日(土)	貝がら工作	小学生以下		
	27日(日)	浜辺の生き物探検隊	小3以上		
9	10日(日)	海苔簀づくり	小3以上		8月21日(月)
10	1日(日)	海苔簀づくり	小3以上		
	29日(日)	映像上映会	どなたでも	当日先着	
11	3日(金祝)	ガイドツアー	小5以上	10月11日(水)	
	26日(日)	海苔つけ体験	どなたでも	10月21日(土)	
12	9日(土)	海苔つけ体験	どなたでも		
	17日(日)	海苔つけ体験	どなたでも		
1	13日(土)	海苔つけ体験	どなたでも		12月21日(木)
	21日(日)	海苔つけ体験	どなたでも		
2	10日(土)	海苔つけ体験	どなたでも		
	25日(日)	海苔つけ体験	どなたでも		
3	4日(日)	海苔つけ体験	どなたでも	2月21日(水)	
	17日(土)	海苔つけ体験	どなたでも		

催し物の詳細は、区報およびホームページでお知らせしています。

申込み: 区報掲載日の午前9時より電話にて申込受付。土日祝日も受け付けています。

**申込・問合せ先: 大森海苔のふるさと館 電話: 03-5471-0333**



# 年間の催し物

年間の催し物の中から、主な催し物をご紹介します。

## ■緑のカーテンを編もう (13:30~15:30)

海苔網の編み方を応用して、ゴーヤーなどを育てるための緑のカーテンのネットを紐で編みます。

## ■海藻おしばづくり

(10:00~、14:00~)

ノリや近くの浜辺の海藻で、海藻おしばを作ります。



## ■あみあみペットボトルホルダーづくり (13:00~16:00)

海苔網の編み方を応用して、ペットボトルを持ち歩くネット状のホルダーを作ります。



## ■海苔簀(のりす)づくり (13:30~16:00)



ヨシを使って海苔つけに使う海苔簀を作ります。手作り海苔簀で、昔と同じ海苔つけ体験ができます。

## ■ガイドツアー (13:00~)

ふるさと館の職員が今に息づく海苔の名残をガイドしながら、潮風が感じられる大森地域を歩きます。

## ■海苔つけ体験(10:00~12:00)

一番の人気の催し物で、生海苔が収穫される冬限定の催し物です。生海苔から乾海苔をつくります。

小学生未満の幼児は、保護者が一緒に作業をお願いします。

## ＜夏休み子供向け体験学習会＞

### ■タペストリーをつくろう (13:30~15:30)

海での紐の結び方を応用してタペストリーを編み、貝殻やビーズなどを飾って仕上げます。

### ■ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう

(13:00~16:00)

ベカブネのペーパークラフトを作ります。

### ■浜辺の生き物探検隊

(9:30~12:30)

浜辺の生き物の観察をして身近な海の環境を学びます。



### ■コースターづくり (13:30~)

海苔簀編みを応用しヨシでコースターを作ります。

### ■フジツボを観察しよう

(13:00~15:30)

海に沈めた板に着いたフジツボを観察します。スケッチしたり、違いを調べたり、実験や観察をします。



### ■貝がら工作 (9:30~、13:30~)

自然の貝がらを使って工作をします。

# ミニ・イベント

家族連れでお気軽にご参加いただけます。

主催:NPO法人 海苔のふるさと会

## ■絵本の読み聞かせ&公園散歩

季節に合わせた絵本の読み聞かせをした後、公園でお花や生き物を探しましょう。主に幼児対象です。

日にち：毎月第四火曜日 (12月は第三火曜日)

時間：11:00~11:30

## ■ひまわり・プロジェクト

耕しの巻：4月9日 (日)

種まきの巻：5月3日 (水祝)、4日 (木祝)

水やりの巻：種まきから7月までの毎日

種とりの巻：9月16日 (土)

※水やり以外は13:30~14:30 (当日先着)

## ■季節飾りと工作遊び

カブトづくり：5月5日 (金祝)、6日 (土)

七夕飾りづくり：7月1日 (土)



(新規)ハーブのサシェづくり：9月18日 (月祝)

貝のおひなさまづくり：2月12日 (月祝)

※いずれも、13:30~15:30 (時間内自由参加)

## ■観察会「浜辺の小さな生き物たち」

6月10日 (土)、10月22日 (日) 13:30~15:30

## ■お月見コンサート

10月7日 (土) 17:30~19:00

※小学生以上、要事前申し込み (9月より募集予定)

## ■天空ガーデンの手入れ

日にち：毎月第二火曜日

## ■ほかにも！

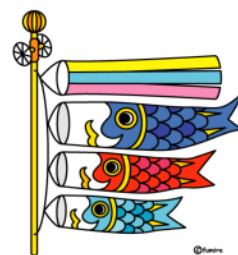
\*ゴールドデンウィーク：

ノリノリ☆クイズ

\*夏休み：のり検定

(海苔のワークシート)

など



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」56号

平成29年4月1日発行

編集・発行 認定特定非営利

活動法人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347

**海苔のふるさと会  
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース57号

## ふるさと館周辺の公園

### 大森ふるさとの浜辺公園

400mにもおよぶ長い浜辺が自慢の公園です。浜辺エリアと橋をはさんで海苔のふるさと館があるふるさとの広場とがあります。そーっと浜辺の水際を歩くと小



魚が群れをなして泳いでいるのを見ることができます。夏と冬には渡り鳥がやってくるなど、いろいろな生き物がいて、自然と触れあうことができます。他にも砂遊びや散歩など思い思いに時間を過ごす人たちがいっぱいいます。これまでもあった売店に加えて、今年4月には浜を一望できるレストハウスもできて、より過ごしやすくなりました。ビーチバレー場とフットサル場も同時にオープンし、気軽にビーチスポーツを楽しめるようになりました。



ふるさとの広場には、長さ30mもあるローラー滑り台と遊具があり、子どもたちに大人気です。広い原っぱで走り回ったり、四つ葉のクローバーを探したり一日中遊べます。

遠くまで見通せるので、小さなお子さまがいるファミリーでも安心して過ごせます。

### ビーチバレー場、フットサル場

更衣室、シャワー室あり／料金や休場日、予約などは要問合せ／問合せ：03-3768-6204

### 平和の森公園

環七通りを挟んで長く続く、緑が豊かな公園です。

なんとといっても1番人気はフィールドアスレチックです。山や谷、池など表情豊かな40もの種目がある本格的なコースです。たくさんの種類の



ふるさと館の周りには3つの大きな公園があります。それぞれの公園の特徴を知っていれば楽しみもアップ！ということで今回は平和島の3つの公園を紹介します。

樹木が植えられた公園内は歩くだけでも気持ちが高く、都内にいることを忘れるほどです。魚釣りや水辺の生き物観察ができるひょうたん池、のびのびと走り回れる平和の広場など他にもいろいろなエリアがあります。「みどりの縁側」では、自然に親しむ工作や自然と触れ合う体験ができ、公園を訪れる人たちの交流の場にもなっています。

### フィールドアスレチック

9時30分～15時／月曜日と年末年始休園、雨天とコンディション不良時も休園／小・中学生100円、高校生以上360円／問合せ：03-3766-1607

### みどりの縁側

4月～10月：9時～17時、11月～3月：9時～16時／月曜日と年末年始休館／入館無料／問合せ：03-6450-0123

### 平和島公園

アクティブに過ごすなら野球場、屋内外プール、キャンプ場のある平和島公園がオススメです。およそ1kmの遊歩道がそれぞれの施設をめぐるように設けら



れていて、四季折々の風景を楽しめます。また、公園中央にある噴水の広場には珍しいカリヨンという鐘があり、季節に合わせた美しいメロディを聴くことができます。(小山)

### 平和島公園プール

室内温水プール：25m、幼児用／夏季プール：50m、子供用／料金や休みは要問合せ／問合せ：03-3764-8424

### 平和島公園キャンプ場

9時～16時、16時～9時／料金や休場日、予約などは要問合せ／問合せ：03-3766-1607

※公園の地図は、大田区発行の無料パンフレット「3つで1つの公園」をご覧ください。



# 海苔のふるさと館 ミュージアムグッズ



## 特選焼きのり (地元海苔問屋組合謹製)



来館記念や  
お土産に!

大森本場乾海苔問屋協同組合が自信をもってお勧めする焼きのりです。その時々によって最も美味しい産地の海苔を厳選。

パッケージは当館オリジナル。歌川広重 (初代・三代) や葛飾北斎

- 全型袋入り(ラベル3種類) 10枚入り 700円
- 卓上缶入り(ラベル2種類) 全型13枚分入り 1,000円

の浮世絵と大森の海苔の由来が書かれ、贈り物にもふさわしい一品です。ご来館の記念、お土産、ご自宅用にも!

## 大森 海苔のふるさと館 オリジナル前掛け

当館のシンボルマーク、「東京 大森」や「本場乾海苔」の文字も入り、かつて大田区沿岸で海苔づくりが盛んだったことを、さりげなくアピールできる前掛けです。前掛けは海苔採りや海苔つけに欠かせない仕事着の一つでした。



3,000円

国内で唯一の帆前掛けの産地、愛知県豊橋市で織られた生地を使用。ポケットもついていて普段使いにもバッチリ! 実用的です。

## 「海苔のこと 大森のこと」

地元の元海苔生産者と住民が執筆にあたり、海苔のまち大森への熱き想いが感じられる一冊。

図表や写真をふんだんに取り入れ、海苔づくりの年間の



仕事や当時の暮らしぶりについて、大変わかりやすく解説されています。海苔のことにとどまらず、大森の地名由来や寺社仏閣の歴史についても書かれているので、まさに海苔のことと大森のこと、両方を知ることができる貴重な資料です。

※取り扱いは大森のみ。書店では扱っていません。

元大森海苔漁養殖業者+編集委員会/編 /ンブル社 (2010年) 2,940円

## 大田区刊行物

当館では大田区刊行物も頒布いたしております。今回はその中から、海苔づくりに関連するものを3点ご紹介いたします。

「大田区 海苔物語」 (200円)

海苔を知るならコレ! 大田区における海苔づくりの歴史をまとめたブックレットです。

「海苔の浮世絵 絵葉書」 (400円)

海苔にまつわる風景を描いた浮世絵が絵葉書になりました。人気浮世絵師、歌川広重 (初代・三代) や葛飾北斎などの作品が8枚入っています。

「DVD 大田区の船大工・中べかを復元する」 (1,300円)

大森の元船大工による中べか (海苔づくりに使っていた木造船) の復元記録がDVDになりました。船大工道具の調査も収録されていて、和船に興味のある方! 必見ですよ!!

(舟越)



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報 「大森海苔のふるさと館ニュース」57号

平成29年6月1日発行  
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区 平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333  
FAX 03-5471-0347

## 海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース58号

## 学校教育との連携

当館は開館以来、多数の小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学に利用していただいています。今後もより一層当館を利用していただけよう、これまでの事例を紹介します。

### ■展示の見学 (通年)

区内小学3年生の社会科見学をはじめ、地域学習での見学、区外小学校の見学など、多数の小学生が訪れています。



主な内容は、職員からのガイダンスの後に海苔養殖の歴史と昔の1年間の作業を紹介した映像を見る、展示室で展示解説をうける、自由見学などです。自分たちで触って学べるコーナー、昔の作業を体験できるコーナーもあり、楽しく学ぶことができます。小学校の要望に応じて、見学の目的や所要時間などによって見学内容は変えられます。

### ■海苔つけ体験 (冬期のみ)

材料となる生海苔が用意できる12月～翌2月までの間、無料で学校の海苔つけ体験を受け入れています。海に生えている状態の生海苔から普段目にする四角い形に成形する手わざが「海苔つけ」です。希望に応じて、

元海苔生産者から貴重な経験談を聞いたり、直接指導を受けたりすることができます。つくった海苔は、乾燥させてから皆さんの手元にお戻しします。約300年もの間、大田区の沿岸で行われてきた作業を体験できるのは貴重です。



### ■職場体験 (通年)

地域の中学2年生の職場体験を受け入れています。来館者への挨拶や展示の説明、催し物の準備片付け

などを主にしてもらっています。働くとはどういうことか、博物館での仕事とはどんなことかなど、体験が有意義な学びになるよう工夫しています。



### ■さまざまな利用

隣接するふるさとの浜辺で当館が行なっている竹ヒビを建てる作業の見学や、ふるさとの浜辺での自然観察など、学校のこんな学習はできないだろうかという要望に可能な限り応えるよう努めています。



他には、高校の映像やデザインの授業への協力、専門学校や大学の実習受入れなども行なったことがあります。

### ■質問・相談はお気軽に！

地域の歴史としてはもちろんのこと、海苔には食品、環境など多様な切り口があります。私たちはもっと様々な学習の機会に当館を活用してもらいたいと願っています。今後は必要に応じて出張授業も行なっていきたいと考えています。相談、質問等ありましたらどうぞお気軽にお問い合わせください。



(文)

えっ、写真じゃない?!  
**「海の生き物イラスト展**  
**—鈴木勝久作品展—**

**【鈴木勝久さんのご紹介】**

鈴木さんは文化学院大学部美術科を卒業後、イラストレーターとして、海洋生物を中心に、数多くの作品を発表されています。そのイラストは『広辞苑』をはじめ、辞典・図鑑・雑誌・ポスター・カレンダーなど、幅広いジャンルで使われており、1998年にはモナコ海洋博物館にてイラストレーション・サイエンティフィック・デザイン・ナチュラルイラスト展に招待出品し、海外でも高い評価を得ています。

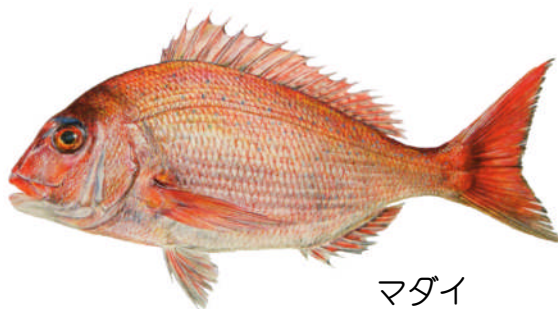


鈴木さんは4年前、海苔のイラストを手掛けることになった時に、海苔の生態を調べるためにふるさと館にご来館されました。その時のご縁がきっかけで、今回の企画展が実現しました。

**【イラストは本物を見て】**

鈴木さんのこだわりは「本物を見て忠実に描く」ことだそうです。新鮮な魚をモデルに、時には水槽で泳がせながら描いたイラストは、ウロコの枚数や微妙な体の色合いなどを描き出しています。築地に勤め、魚を専門に扱う方々からも「鈴木さんの描いた魚は本物そっくり。見るだけで大きさや重さの見当がつく」との声があがります。

例えば、タイのウロコは透明で、あの赤い色は皮についています。イラストでは鉄筆で紙に細かな溝をつけ、その上から透明水彩絵具を乗せることで、



マダイ

**海苔のふるさと会  
 会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

現在開催中の企画展。写真と見間違えてしまうほど緻密なイラストの魅力を、余すところなくご紹介いたします。

**絶賛開催中!!**  
**11月19日(日)まで**

その質感を表現しています。また、マダコは身を守るため、自分の居場所にあわせて体の色を変化させます。鈴木さんはタコを叩いて怒らせ、本来の色に戻らせてから描いたそうです。



アサクサノリ

今回の展示では、初公開の原画や、イラストを使ったポスターやカレンダーが、企画展スペースいっぱいになっています。



**【魚を観察する楽しさ】**

「海の生き物はとても美しい。多くの方々、特に豊かな感性を持った子どもたちにぜひ見てほしい」と想いを語られる鈴木さん。夏のイベント「浜辺の生き物探検隊」にはゲストとして、イラストの解説をしていただきました。ボラやハゼを観察しスケッチした子どもたちにも、一緒に来た保護者の方々にも、鈴木さんのお話はとても興味深かったようです。

子どもから大人までとりこにする美しいイラストを、ぜひ見にお越しください!

(三好)

**認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」58号**

平成29年9月1日発行  
 編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
 連絡先 東京都大田区  
 平和の森公園2番2号  
 TEL 03-5471-0333  
 FAX 03-5471-0347



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報  
**大森 海苔のふるさと館** ニュース59号

**てくてく海苔と浜辺のまち歩きガイド** 所要時間約30分  
コース②

館の周辺をお散歩してみませんか。海苔や浜辺の面影が分かる場所を数回に分けて紹介します。

今回は、美原通りの北側のコースです。海苔の間屋や老舗和菓子店が多く買い物も楽しいエリアです。

BIG FUN平和島は娯楽が揃った施設。大田自慢の黒湯「天然温泉平和島」、映画館、芸能人も通うという噂のポートレース平和島など。大田区最大のイベント「OTAふれあいフェスタ」の会場にもなります。

**①京急平和島駅**

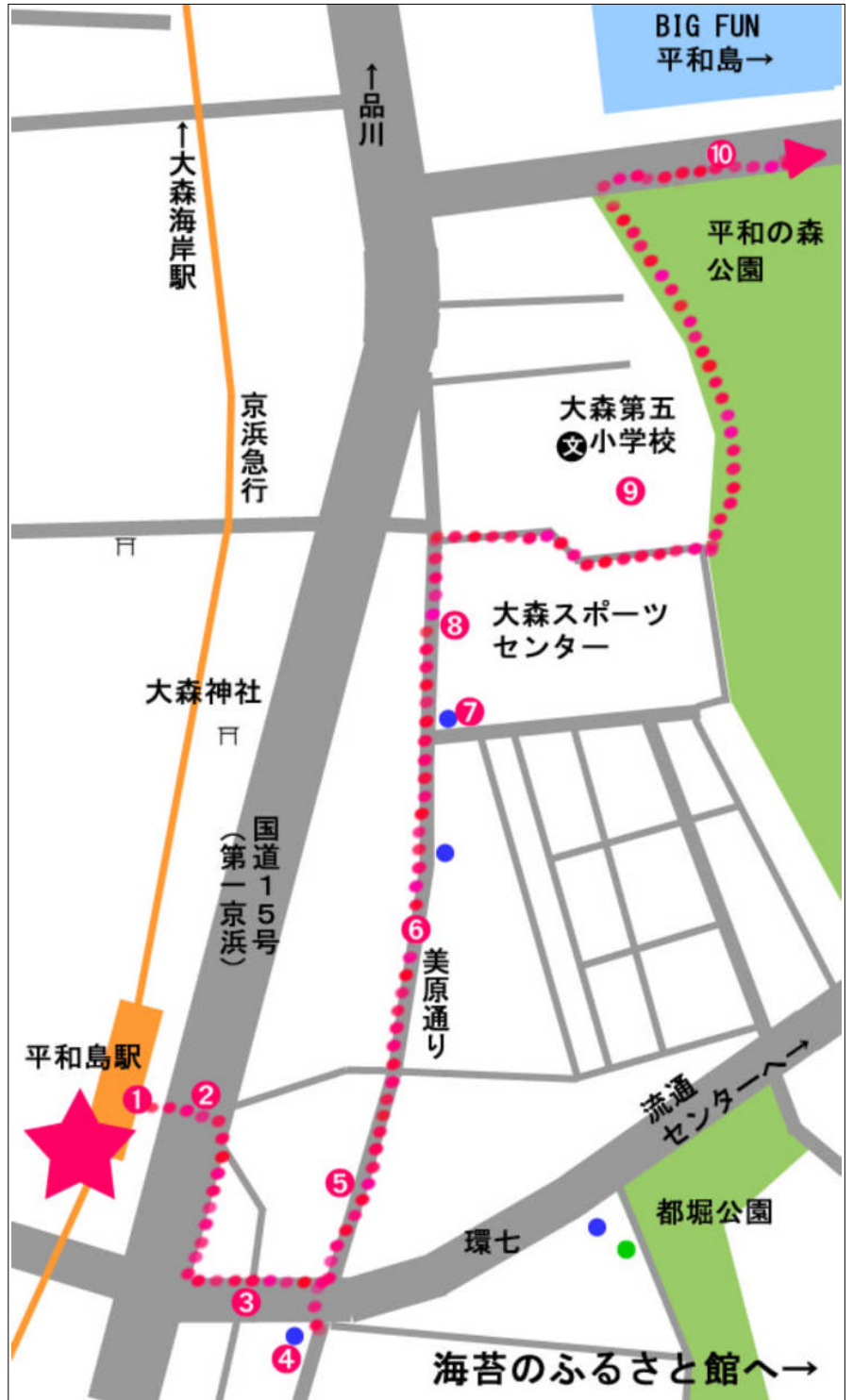
寄木尋常小学校（その後大森第二小学校→開桜小学校）の裏手（北西側）に駅があったため「学校裏駅」の名称だった。昭和25年ごろ現在の位置に駅を移動し、昭和36年（1961）に平和島駅の名称になった。列車接近のメロディは「いい湯だな」。温泉施設の先駆け「天然温泉平和島」に由来する。

**②国道15号(第一京浜)**

明治39年（1906）に東海道拡張工事が行われ、9年間かけて京浜国道が整備された。美原通りは商店が密集して拡張が困難だったため、避けて国道が作られた。そのため、美原通りは現在も旧東海道の道幅を残している。

**③環七**

大田区東海1丁目を起点、江戸川区を終点として、東京23区を環状に廻る。昭和40年代後半に国道15号の東側ができた。



● は店頭販売している海苔問屋。● は店頭販売していない海苔問屋。

**④松尾**

寛文9年(1669)創業、大森の海苔養殖の草創期からの海苔問屋。戦災や環七の整備を経て、現在の店舗になった。店舗販売のほか、通信販売やふるさと小包などで創業以来約340年の味と伝統を伝えている。



昭和2年ごろの写真  
(株式会社松尾所蔵)

**⑤大黒屋**

大正8年(1919)創業の和菓子屋。伝統的な餅菓子のほか、先代が考案した大森名物『のり大福』や、現在の四代目考案の『美原どーなつ海苔味』など、海苔のまち大森にちなんだお菓子も販売している。



**⑥美原通り**

旧東海道で、当時の道幅が今でも残っている。古くは城南随一の商店街で、毎夜、夜店が出て賑わっていた。海苔の地方出稼ぎ者はここで土産を買い、海苔生産者の若い衆は夜店へ遊びに来るのが唯一の楽しみだった。昭和40年代後半に環七ができ、通りが分断されて賑わいにかげりが出てきた。そこでかつての賑わいを取り戻そうと、平成24年(2012)に、木製の看板や格子、瓦屋根の軒びさし、のれん、浮世絵シャッターアートなどで旧東海道の街並みを再現した、街並み景観整備事業が完工した。



**⑦貸しボート屋跡**

大森スポーツセンターの南側の道路は昭和40年ごろまで入江になっていて、海苔問屋の川島屋が経営する貸ボート屋があり、行楽客の楽しみの場所だった。

**⑧魚市場跡**

江戸時代、このあたりの旧東海道は海岸に面していて、道沿いで魚貝を商っていた。明治13年(1880)、美原通りの中ほどに魚市場ができ、仲買問屋が漁師から仕入れて小売店に売るようになった。さらに取引先の拡大により、昭和5年(1930)に北側へ移転。平成元年(1989)に現在の大田市場水産物部へ統合され、大森魚市場は廃止となった。現在、跡地は大森スポーツセンターとなっている。

**⑨大森第五小学校**

昭和9年(1934)創立。昭和40年ごろに都堀が埋め立てられて平和の森公園ができるまでは、校庭の東側は海に面していた。公園との境にその名残が見られる。

**⑩平和島**

東京府による京浜運河計画の一環として昭和14年(1939)に誕生した未完成の人工島。戦時中は捕虜収容所、戦後はA級戦犯の仮収容所となり、その後、一時東京都職員住宅が建設された。昭和29年(1954)、京浜急行電鉄グループである現在の京浜開発株式会社が海面を利用して競艇事業をスタートさせた。以降、温泉、プール、遊園地などレジャー施設として開発された。城南住民にとっては、家族や親戚で娯楽を楽しんだ懐かしい思い出の場所。現在は周辺も埋め立てられて島の面影はないが、レジャー施設BIG FAN平和島として娯楽を提供している。⑩の番号のあたりがかつての平和橋。



平和島温泉絵はがき(昭和30年代前半)渡辺豊治氏寄贈

**認定特定非営利活動法人海苔のふるさと会会報「大森 海苔のふるさと館ニュース」59号**

平成29年11月1日発行  
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区  
平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333  
FAX 03-5471-0347

**海苔のふるさと会  
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。





認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報



# 大森 海苔のふるさと館 ニュース60号



## 新年の挨拶

海苔のふるさと会

理事長  
中村 博



新年あけましておめでとうございます。  
昨年9月に海苔のふるさと会の理事長を拝命いたしました、中村博でございます。

会員の皆様をはじめ多くの関係者の方々には、海苔のふるさと館ならびに会へのご理解、ご尽力をいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。甚だ微力ではございますが、鳴嶋享郎前理事長の後を受け継ぎ、ふるさと館ならびに会の更なる発展のために皆様のお力添えをいただきながら専心努力してまいり所存です。今後ともご協力賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

昨年はふるさと館に隣接します大森ふるさと浜辺公園にレストハウスとスポーツ施設、船着場が新設されました。ふるさと館を含めて公園の魅力が増した一年だったのではないのでしょうか。

ふるさと館では、夏に企画展「海の生き物イラスト展」鈴木勝久作品展」を開催しました。鈴木勝久氏の作品は多くの図鑑、図録等に掲載されており、皆様も目にすることがあるかもしれません。原画も今回初めて出展していただき、多くの方がこの作品展を目的に来館されました。

また、昨年8月には大森海苔親善大使に大森出身のヴォーカリスト鈴木雅之氏が就任しました。本年の4月には開館十周年を迎えます。注目を浴びる機会が多くありますので、これを機にふるさと館の更なる充実に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



貴船堀の海苔船(昭和38年1月1日撮影)

開催中

企画展  
「海苔養殖の一年  
昭和の古写真より」  
会期：3月18日（日）まで  
時間：9:00～17:00<入館無料>



# 去年はこんなニュースがありました！

— 本年もよろしくお祝い申し上げます —



## 一年間で10万人

平成28年度の来館者数が111,267人となり、開館以来初めて一年間で10万人を超えました。また、8月には80万人目の来館者の方に記念品を贈呈しました。

## 3月 公園に新施設オープン

大森ふるさとの浜辺公園に、ビーチスポーツができる大森東水辺広場がオープンしました。同時に休憩や着替えができるレストハウス、水辺の交通のための船着場もオープンし、浜辺の利用がますます便利になりました。

## 6~7月 東京湾連携スタンプラリー

当館は、東京湾再生官民連携フォーラムの東京湾の窓プロジェクトチームで、東京湾沿岸の施設の連携と利用の促進に取り組んでいます。その一環として、「東京湾・公園めぐりスタンプラリー」を行いました。

## 8月 大森海苔親善大使

当館において、大森本場乾海苔問屋協同組合がヴォーカリスト鈴木雅之氏を大森海苔親善大使に任命する任命式が行われました。鈴木氏の祖父は元海苔生産者で、子どものころ海苔の船に乗せてもらい、海苔に親しんで育ったそうです。

## 通年 外部のイベントに参加・協力

### \* 館のPR活動 \*

東京湾環境学習フォーラム (浦安市)  
Satoyama & Satoumi Movement (幕張メッセ)  
東京湾シンポジウム (横浜大さん橋ホール)  
高校生環境サミット (つばさ総合高校)

### \* 発表 \*

相模民俗学会例会 (当館)  
アジア湿地シンポジウム (佐賀市)

### \* 出張事業 \*

エコフェスタワンダーランドにて貝がらで飾りづくり (高畑小学校)  
東京港野鳥公園フェスティバル及び里地里山フェスティバルにて貝がらで飾りづくり (東京港野鳥公園)

### \* 協力 \*

日本財団海と日本プロジェクトのコースターづくり  
大森西地区ふる浜まつりの海苔つけ体験  
日本環境教育フォーラムのまち歩き  
大田観光協会の大田海苔さんぽ ほか多数

## 9月 ハーブのサシェづくり

新規イベントとして、3階の天空ガーデンで育てているラベンダーなどのハーブを使って、ハーブのサシェ (匂い袋) づくりを行いました。

## 7~11月 海の生き物イラスト展

夏休みに合わせて企画展「海の生き物イラスト展 鈴木勝久作品展」を開催しました。初公開の原画も展示され、今にも泳ぎだしそうな精巧さに感嘆の声が多く聞かれ、多数の方が来場しました。



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」60号

平成30年1月1日発行  
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区  
平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333  
FAX 03-5471-0347

## 海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース61号

## 海苔の生育観察 今年度の海苔生育の報告

### 【12月末】

12月23日に、大森ふるさとの浜辺公園へ海苔網を張り出しました。12月下旬に水温が下がり、塩分も比較的濃くなるので、毎年この時期に作業しています。



元海苔生産者の指導で網張り

網は昨年と同じく、木更津の金田でタネ（孢子）をつけて育苗し、冷凍保存していたものです。冷凍網の芽は弱いので、潮の動きが小さい小潮の日に張り出し、数日は海に浸かっているようにしています。今年は建てる場所を北寄りにし、なおかつ張った網を深く下げる作業を行いました。

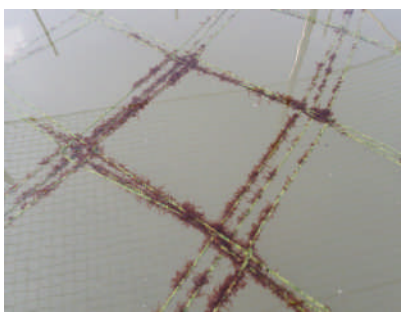
2日後の25日には網を海面近くまで上げ、カモに食べられないように鳥避けネットを設置しました。生長を楽しみに年末に入りましたが、気温が3月並みに上がったり、雨が降ったりと、海苔に良くない状況が続きました。

### 【1月上旬～中旬】

年明けには、一部で数ミリほどの芽が出ていましたが、ほとんど生長していない状態でした。その後も少しずつ生長しているものの、芽の出ている場所の方が多という状況でした。

そんな折、お台場学園が授業で育てている海苔網を譲っていただけることとなり、20日に追加で網を張りました。

お台場の網とふるさと館の網は同じ生産者の方のものですが、お台場では非常に生長が良く、環境の違いを実感しました。21日には収穫を体験してもらうため、はまどの会と職員で海苔と



今年度の海苔網一部、まばらに芽が出ているだけでした。

### 【1月下旬～2月】

数日は元気だったお台場の網ですが、徐々に芽が短くなっていきました。浜辺公園はお台場と比べて塩分が薄いため、生長できなかったと考えられます。一方、先に張った



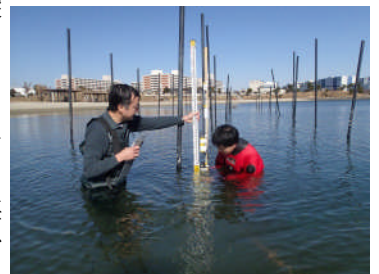
はまどの会の収穫体験

網の芽は、ゆっくりと生長を続けていました。海に環境に適応できた一部の芽が、何とか生き延びている状況です。

### 【おわりに】

浜辺での海苔生育は、今年も収穫には至りませんでした。

現在、その原因を探るため、浜辺の環境を科学的に調査しています。これまでも海水温や比重の測定をしていましたが、新たに海洋政策研究所の方にご協力いただき、塩分計・水温計・照度計を設置



計測ポールの設置

しました。得られたデータは、来シーズンの海苔生育に活かしたいと思います。

また、今年もはまどの会メンバーが積極的に参加し、元生産者の方々から作業のコツや工夫を教わり



2年前の収穫の時約10センチに生長し、黒々とした海苔網になりました。

ました。大森の海苔の歴史を伝えるため、地域と一体で活動していきたいと思

います。  
(三好)

# 大森の海苔の入札

大森は、全国で唯一、海苔生産地以外で海苔の入札が行われています。そのナゾに迫ります。

## <海苔の入札>

乾海苔は、通常、各県の漁業協同組合連合会(漁連)に集荷され、漁連主催の入札会で共同販売(共販)されます。入札会には指定商社が参加し、落札され、消費者へと流通する仕組みになっています。

### ●全国の海苔の入札

- \* 県の漁連で行われる。
- \* 入札の前に品質検査が行われ、検査員が品質と等級を付ける。
- \* 入札会には漁連の指定商社が参加。
- \* 商社は品質と等級を目安に入札する。
- \* 生産者が違っても同じ等級はまとめて入札される。
- \* 数十箱から数百箱単位で扱われる。

### ●大森の海苔の入札

- \* 大森本場乾海苔問屋協同組合で行われる。
- \* 神奈川県漁連の入札会を行う。
- \* 大森本場乾海苔問屋協同組合と神奈川の間屋組合加盟の間屋が入札に参加。
- \* 等級付けがないので、入札は問屋自身で品質を見極める必要がある。
- \* 一箱(一本という)単位の入札なので、小規模の間屋でも参加できる。一箱3,600枚入り。

## <大森の間屋の特徴>

### ◆全国で最も問屋が集中している

現在、大森海苔本場乾海苔問屋協同組合の加盟は約50軒。狭いエリアに問屋が集中しています。

### ◆中小規模な問屋が主

元々、生産者から海苔を仕入れる仲買人だったことから、中小規模の間屋が主です。

### ◆大森の間屋の強み

大森は等級をつけないため、品質を見極める力が求められます。元日本一の海苔生産地大森で磨きをかけてきた大森の間屋は、目利き味利き。

大手商社は仕入れ、加工、販売と分かれています。大森の間屋は全てを一貫して行うので、消費者のニーズを理解し、対応する力があります。

海苔の購入は、組合加盟店の紹介をご覧ください。

**大森本場乾海苔問屋協同組合**

<http://www.oomori-norikumiai.com/>

## 参考資料

海苔産業情報センター「海苔ジャーナルエクスプレス」<http://www.j-nori.com/>  
藤井弘治「のり産業界の現状 産地を追って」<http://www.nori.or.jp/>

## 海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

## <大森の海苔の入札を視察>

2月14日は、神奈川県の生産地である走水(横須賀)・金沢(横浜)から計304本の海苔が入札にかけられました。海苔は神奈川県漁連が取りまとめて、大森での入札を受けています。

各箱に取り付けた入札箱に、1帖単位で希望価格を書いた札を入れ、時間になると組合役員が開票し、購入者を決定します。同価格になった場合はじゃんけんをしたり、お互いに融通しあっています。



一本の中に、収穫日の違う海苔が混ざっ

各問屋が品質を見極めて入札

している場合もあるので、事前に組合職員がチェックし、箱に表示を付けています。問屋は見本を手に取り、ツヤや色を見ます。電熱器もあり、気になる海苔は焼いて試食していました。組合の理事長によると、「海苔の見極めは、4~5年ではまだ素人同然」とのことです。(三好)

※一般の見学は受付けていません。

## <大森の入札の役割>

神奈川県の生産者は現在では十数戸で、年々減少傾向にあります。しかし、冬の生産期間、入札は毎週実施され、大森は重要な役割を担っています。

なお、大森の間屋は日本全国の入札会にも参加し、大森には全国のおいしい海苔が流通しています。小売をしている問屋も多いので、問屋めぐりをしてみてはいかがでしょうか。

(五十嵐)



**認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」61号**

平成30年3月1日発行

編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347